※令和３年度以前入学生用

学校番号	1017

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 改訂版日本史Ａ 人・くらし・未来（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近世の終わり、幕末から、現代までの日本史を学びます。
・現在の日本が形づくられた歴史を学ぶことにより、過去と今のつながりを見つける力と、未来の展望を考えることができる力を養います。

2　学習の到達目標

・歴史を考察する上で必要な基本的方法を理解させると共に、必要な通史を理解させる。
・主題学習を積極的に取り入れると共に、地域学習を通して、歴史への関心を高め、歴史的思考力を身に
つける。
・世界史的視野に立って総合的に考察し、日本の文化・伝統についての認識を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日本史の出来事を人物・事件を中心に考察し、その背景にある歴史的な流れ、あるいは制度の変遷などに興味・関心を持つようにする。	歴史の流れとその結果について考察し、多様な要因を理解し、その過程や結果を適切に表現している。	日本史の史料や統計などの様々な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	歴史の流れの考察と、現在の日本がどのように成立したかという理解をつうじて、これからの在りようを積極的に考えていく。
評価方法	ワークシート グループワーク	定期考査 授業ノート グループワーク	定期考査 授業ノート グループワーク	定期考査 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	近現代の日本と世界	幕藩体制の動揺 開国と社会の変動 尊皇攘夷から倒幕へ 明治維新と新政府の成立 文明開化と四民平等 地租改正と富国強兵 新政府の近隣外交 民権思想と国会開設運動 大日本帝国憲法の制定 初期議会 条約改正と日英同盟 日清戦争・日露戦争 朝鮮の植民地化 政党内閣･護憲運動	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:これまでの封建的国家から、近代国家が形づくられる過程を順をおって探求できているかどうか。 b:近代の諸制度を、他国や過去のものと比較し、どのような特徴があるかを的確に判断・表現しているか。 c:明治期の諸制度、明治憲法の史料を見て、その内容を読み取り、時代背景をまとめることができる。 d:明治期の諸制度・外交問題が正しく理解できている。	定期考査 ワークシート レポート
		日本資本主義の成長 重工業発達と財閥の成立 産業革命と社会問題 米騒動と社会運動 大正デモクラシーと文化 普通選挙法と治安維持法 第１次世界大戦 第１次世界大戦後の世界 国際協調外交	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:資本主義の発達と社会制度の発達を関連づけて追求できているかどうか。 b:資本主義や文化の発展を、的確に判断・表現しているか。 c:政治制度の変遷、外交の変化を見て、その内容を読み取り、時代背景をまとめることができる。 d:資本主義のしくみ・世界情勢が正しく理解できている。	定期考査 ワークシート レポート

※令和３年度以前入学生用

後期	近現代の日本と世界	侵略戦争への序幕 満州事変と満州国 日中戦争 第２次世界大戦と日本 戦時下の学問・文化 太平洋戦争 戦時下の国民生活 日本の敗戦	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:軍国主義へ向かう要因を探り、そのことがどのような過程や結果を招くかを探求する。 b:戦時期の映像などをとおしてこの時代についての客観的考察および主観を表現する。 c:どのように戦争がおこなわれていくか、そのときの国民生活はどのようなものであったかを、まとめることできる。 d:戦争へいたった原因を認識し、軍国主義のもたらした結果とアジア諸国に与えた影響を理解する。	定期考査 ワークシート レポート
		占領体制 新しい国のしくみ 民主化から経済復興へ 保守と革新の衝突 奇跡の経済成長 経済大国 これからの日本	○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:新しい政治のしくみを知り、経済成長と国の移り変わりを見て生活の変化を探る。 b:経済成長の様子とその影響を考察し、日本がどのような国になったかを表現できる。 c:戦後の政治、経済復興の過程を討論し、そのときの国民生活はどのようなものであったかを、まとめることできる。 d:戦後の政治を理解し、経済発展のもたらした結果と石油危機以降の課題を認識する。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。